

2020年12月末現在
組合員 4,278人
出資金 1億6,315万円
11~12月の動き
組合員 新規加入18人
脱退16人



西濃医療生活協同組合

医療生協

げんき

第120号

2021年1月10日発行

(奇数月発行)

〒503-0982 大垣市久徳町153-1

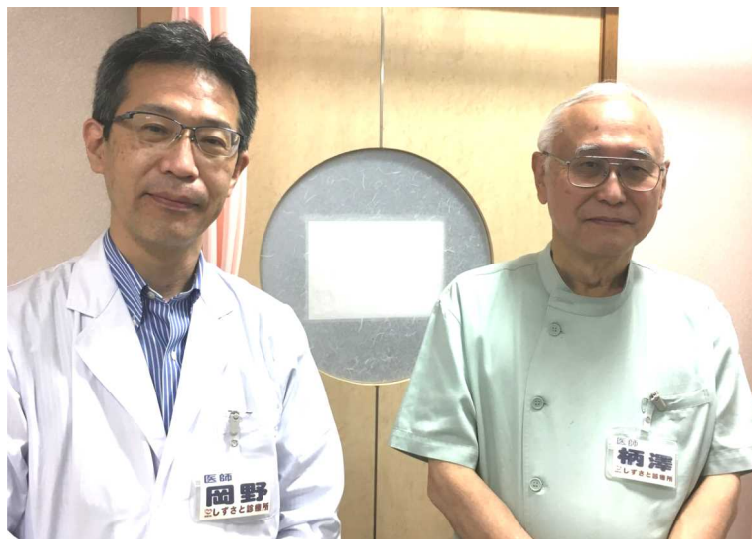
TEL 0584-92-3268

ホームページ seinou.coop

編集 機関紙編集委員会

しずさと診療所に常勤医師誕生！

柄澤所長（右）と、この1月から常勤医師として加わる岡野高久医師（左）



明けまして
おめでとぅございます

私たち西濃医療生協は、中長期計画で定めた「住み慣れた地域で最後まで自分らしく」をめざし、健康で平和なまちづくり、医療・福祉活動の展開、これらを実現する組織づくりを柱に、「人と人のつながりづくり」を広げて健康づくりの活動を進めます。診療所・介護事業所でも、患者・利用者と向き合い、医療・介護の充実に取り組みます。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。

しずさと診療所

所長 柄澤 正人

明けましておめでとぅございます。

昨年は、世界中で深刻な新型コロナウイルス禍の危機が広がり、まだその終焉は見えてきません。ワクチンが本当に効果的で安全なのか（期待はできますが）まだ分かりません。そのような中でやるべきことは今までもどおり「感染しない、感染させない」ために一人一人が細心の注意を払うことです。しずさと診療所でも感染防止のために必死で取り組んでいます。玄関でのトリアージ（発熱者のチェック）などご協力をお願いします。大変ですが耐えましょう。

しずさと診療所

常勤医師 岡野 高久

明けましておめでとぅございます。本年1月より常勤医として勤務させていただくことになりました。

私は平成2年に京都府立医科大学を卒業し、以後30年にわたり、大学および関連病院（大津市民病院、京都岡本記念病院など）で外科医、心臓血管外科医として診療に従事してきました。

専門は狭心症や弁膜症などの心臓病、不整脈、高血圧、動脈硬化、下肢静脈瘤をはじめとする循環器内科外科疾患ですが、幅広く多くの救急疾患や慢性疾患の診療に取り組んでいます。胸の痛みやしめつけ感、動悸等の症状はもちろんのこと、ふらつきや足のむくみなどの症状の

しずさと診療所としては、暗いニュー

スばかりではありません。今まで非常勤で来ていただいていた岡野先生が今月から常勤医として働いていただけることになりました。本当にありがたいことです。

岡野先生は、循環器疾患（心臓病、不整脈、高血圧、動脈硬化など）のエキスパートです。今後しずさと診療所での循環器疾患分野でのレベルアップが大いに期待できます。また在宅診療でも力を発揮していただけたと思います。

しずさと診療所は、新型コロナウイルスに負けずに皆さんのご期待に応えられるよう益々発展していきます。よろしく願いします。

気になる方や、健診で心電図や血圧やコレステロールの異常など指摘された方は、ぜひ一度受診されることをお勧めします。

3年前より非常勤医として、しずさと診療所での診療に従事し、柄澤先生はじめ、職員の皆さんの真摯に医療に取り組む姿を目の当たりにし、微力ながらその一助になればと考えております。

ここ西濃、大垣は、私が幼少期と学童期に育った地です。伊吹おろし、大垣城、水門川、奥の細道結びの地の船町や住吉灯台、養老公園など、子どもの頃に駆けまわっていた地です。今までの経験と知識を活かし、さらに一層の研鑽を積み重ねて、少しでもお役に立てれば嬉しく思います。

新年のづあい

理事長

木村隆之



西濃医療生協の組合員、患者・利用者、そして職員の皆さん、新年を迎えるにあたり、ますますのご健勝とご活躍を心よりお祈りいたします。

西濃医療生協創立（2001年6月3日）から、いよいよ20年目（来2022年が20周年）に入ります。私たちが設立当初からめざしたものは、全ての組合員や住民が「住み慣れた地域で最後まで自分らしく生きる」ことのできる地域社会とそれを可能とする医療・福祉事業を創造することです。

私たちの20年に及ぶ活動・事業は、夢の実現に向かって大きく前進してきました。組合員数は4200人を超えました。西濃全域で11支部が着実な活動を続けています。28の班がスクエアステップ、笑いヨガなど多彩な班活動を行い、それに毎月平均220名以上の人（組合員外も含む）が参加しています。「しずさとたすけあい」も、福祉輸送にも取り組み始め、本年3月のNPO法人設立に向けて本格的に動き出しています。こうした活動を通じて健康づくり・居場所づくり・たまり場づくりも前進しています。

西濃医療生協の医療・介護事業は1

10名を超える職員集団によって担われ、事業規模は年間7・3億円を超えました（2019年度決算）。訪問医療・看護・リハをはじめ医療・介護事業に対する地域の信頼も高まっています。西濃医療生協は地域の保健・医療・介護、そして暮らしの拠点という地位を着実に固めてきています。

こうした発展の一方で、先年は、「コロナ禍」という未曾有の災害に、常勤医師1名の退職という事態も加わり、経営的にも厳しい状況に直面してきています。西濃医療生協「中長期計画」の「診療所リニューアル計画」も「凍結」せざるをえなくなりました。しかし、職員の献身的な頑張りや組合員の奮闘により、コロナ禍の経営への影響は最小限に食い止めており、さらに新年より岡野高久医師を常勤として迎える運びとなりました。中長期計画の具体化と実行に改めて踏み出す基盤を維持することができました。

診療所増改築、医療・介護体制や組織の再編強化、そして「しずさとたすけあい」事業の本格化など、繰り返し越えてきた課題は山積しています。私たちが積み上げた20年間の実績を基礎に、組合員が主人公の医療・介護事業という原点を忘れず、さらに1年間の苦しい経験を糧にすれば、2021年は、必ずや西濃医療生協の新たな20年に向けた飛躍の年になるはずです。本年も

気持ちを新たに挑戦していきましょう。

診療所事務長

中村英洋



昨年1月、中国武漢での新型コロナウイルスの報道から、まさか世界中がこのような状況になることは想像もできず、緊急事態宣言の発出、全国一斉休業や飲食店等への休業要請などが起こりました。私たち医療機関でも1年を通して感染対策に努める事態となりました。なにせ未知のウイルスということで、情報は錯綜し、不安や不満がうずまき社会へあつという間に変化してしまいました。

話は変わりますが、先日、家族でさやかな忘年会を行いました。今年を振り返り、子どもたちは東京への修学旅行の中止や運動会等イベントの縮小などに不満を述べながらも、日常のマスク・手洗い・密を避ける生活にはそれほど苦痛を感じていないようでした。子どもたちはもう「あたらしい生活様式」に適応しながら元気に生活を送っているのだと改めて頼もしく感じました。現在感染を拡大させているのは、古い生活様式から抜け出せない大人の社会ではないでしょうか。子どもが元気で暮らしている世の中を実現する、大人の責任を改めて感じました。

私たちはこれほど大変な1年を初めて経験しましたが、なんとか2021年を迎えることができました。1日も早く、誰もが笑って暮らせる社会となるように、一緒にウイルスに負けない社会を作っていきたいと思います。本年もよろしくお願いいたします。

介護センター長

長尾拓裕



新年あけましておめでとございませう。2020年はコロナ禍により、未曾有の年となりました。感

染拡大に伴い、高齢者施設である介護センターも利用を制限させて頂いております。組合員の皆さまにはご不便をおかけすることになりましたが、ご理解・ご協力を頂き、ありがとうございました。

マスク不足となった3月、組合員さんが手作りマスクを作ってくださいました。また、コロナ禍の中でも、ボランティアの皆さまがセンターの植栽や芝生をきれいに保ってくださいました。職員一同、心から感謝申し上げます。

2021年は丑年です。昨年は我慢の年でしたが、牛の歩みを見習って、少しずつでも前に進める年にしたいと思います。本年もよろしく願いいたします。

よく使われる漢方薬のご紹介②

感冒、インフルエンザに

マ オウ トウ 麻 黄 湯

しずさと診療所医師 粕谷志郎

(月曜と水曜の午前診療を担当)



例年ならインフルエンザの流行真ただ中の季節となりました。今年は新型コロナの蔓延で、インフルエンザが後景に押しやられる形となっています。マスク、手洗い、人の移動の制限などが、新型コロナ以上にインフルエンザ予防に効果があるのかも知れません。ワクチンの接種率も高いようです。ところで、『傷寒論』(3世紀初頭の書物)には太陽病(感染症初期)、頭痛、発熱、身疼(体の疼痛)に麻黄湯が効くとの記載が見られます。まるでインフルエンザの症状のようです。事実、小規模の検討ですが、インフルエンザの諸症状に抗インフルエンザ薬のタミフルやリレンザと同等の効果を示すとの研究があります。麻黄湯はインフルエンザをも見据えた処方だったのかも知れないと考えると、当時の漢方医の洞察力には驚かされます。インフルエンザと推定される初めての記録は紀元前412年ヒポクラテスによるとされています。中国での集団感染の記載が見つかっていませんが、この時代には既に存在したと考えても良いでしょう。渡り鳥と家禽、豚が接する場があれば、今も昔も発生する可能性があるからです。その意味からも、中国南部は国際的監視の必要な地域の一つです。

麻黄湯は発汗するまで2時間おきに1包服用す

ると効果的です。麻黄湯は10倍量使用してもよいとする専門家もいますので、必ずしも1日3包にこだわる必要はありません。実験的には麻黄湯の服用によって体内で抗ウィルス作用を有するインターフェロンが産生されます。単に症状を取るだけのものではなく、積極的にウィルスを攻撃する作用があるというのも驚きです。「抗ウィルス薬」の登場は1960年代ですので、麻黄湯が再評価されれば歴史が変わります。

今年は、新型コロナの感染から職員を守るため、診療所での鼻腔ぬぐい液によるインフルエンザの迅速検査を行っていません。確定診断ができないため、特効薬も処方できない状況です。発熱のある方には医師会による新型コロナPCR検査を予約していただきますが、38度もある場合は、インフルエンザも考慮して、麻黄湯の処方をさせていただく場合もあります。感冒でも同じですが、発熱初期の熱のこもった(発汗のない)時期に服用するのが効果的です。ただし、注意して処方する必要があります。この中に含まれる麻黄の成分にエフェドリンという交感神経を刺激する物質が発見されています。昔はぜん息の治療にも使われていましたが、心臓の刺激作用があります。虚弱、高齢者への投与は注意が必要となります。

エコー増資へのご協力ありがとうございます

いつも診療所の運営にご理解、ご協力をいただきありがとうございます。

最新医療器エコーの購入にあたり、出資金増資にご協力をお願いし、12月29日現在、182人の組合員さんから486万円の出資金が寄せられました。ご協力ありがとうございました。

目標600万円に向け、引き続き増資運動に取り組んでいます。ご協力をよろしくお願いいたします。

郵便口座 名義：西濃医療生活協同組合
番号：00810-6-92565

お問合せ先：0584-92-3268 (医療生協本部)

インフルエンザ予防接種再開について

今シーズンの予防接種では、ワクチン供給量によりご予約を調整せざるを得ず、みなさまに大変ご迷惑をおかけしましたことをお詫びいたします。

現在、ワクチン再入荷により予防接種可能な状況にあります。1月からは随時予約を受付いたしますので、ご希望の方はお申し込みください。

接種料金

* 医療生協組合員は特別料金になっています。

(この機会に加入をご検討ください)

○大人(13歳以上) 組合員：1回 2,500円

○小児(12才以下) 組合員：1回 2,000円

○組合員以外 1回 4,000円

ご予約のお電話は(0584) 93-1170へ



大垣中央支部

「サロンの木」秋の遠足

中央支部のたまり場「サロンの木」で、杉原千畝について勉強した折、みんなで八



不破支部

紅葉の関ヶ原古戦場巡り

天候に恵まれ気持ちのよい11月28日、不破支部13名・西濃南部支部4名の参加で、関ヶ原歴史ウォーキングをしました。関ヶ原在住の水野さんが案内役でした。

陣場野公園、徳川家康最後の陣跡、島津義弘陣跡、東首塚、決戦地、笹尾山（海拔198m）、細川忠興陣跡、相川の源流、ショップ「わ」、出来たばかりの岐阜県関ヶ原古戦場記念館を見学しました。

笹尾山頂上でわきあいあい、で昼食を取り、久しぶり

の楽しく清々しい一日でした。頂上には、関ヶ原全景がわかる大きなパネルと音声説明がありました。帰りには豪華な記念館近くにある関ヶ原の組合員さん立ち上げの手作りショップ「わ」で、野菜・果物・手作り品を買いました。土日の営業です。皆さん立ち寄ってくださいね。

記念館前では武将の方と写真撮影！

楽しかったです。ありがとうございました。

一色 徹

百津まで行きたいねという話になりました。

幸いにも昔の職場のT氏が所有の10人乗りのワゴン車を出してくださることになり、仲間9人の小旅行を実施することが出来ました。もちろん乗車前には体温測定とアルコール消毒をし、時々車中の換気もしながら、コロナには充分気を付けました。

まず千畝記念館で千畝の足跡をたどり「人道の丘」を訪れ、普段はめったに行かない「瞑想の森」までも車を走らせてもらい、次はいよいよ松茸御飯が名物の五宝滝です。食後に、その昔宮本武蔵が修

行したという伝説の五宝滝まで散策して、マイナスイオンと紅葉を満喫し、帰路に就きました。

途中、八百津の名物「酢」の醸造所に寄り、次に町なかで八百津せんべいと栗きんとんを買いました。帰路はわざわざ犬山城の見える川沿いを下っていただき、T氏には本当にお世話になりました。

私たちのコロナ疲れが、おしゃべりと食事と散策で癒され、本当にいい一日が過ごせました。次回は一泊温泉旅行の希望も出ていますが、さあどうしましょうね。

松岡恵子

しずさとたすけあい NPO法人化にむけて準備会立ち上げ

12月13日(日)、西部研修センターにて、NPO法人設立にむけた「設立準備会」を開催しました。26名の方が参加され、「たすけあい」への期待の大きさを感しました。

準備会では、NPO法人設立に向けての提案、この間の利用状況、今年度の収支報告を行い、意見交換をしました。

利用者さんからは生活支援は大変助かりありがたいと感謝されていること、福祉有償運送は今後も利用したいなど生活には欠かせない足となっていることがわかりました。

担い手さんからは、担い手がまだまだ少ない、担い手ふやしが大きな課題だ、早めに予約をもらえると予定が立てやすくなる、うまくやらないと回っていかないなどの発言がありました。

3月法人設立総会、6月認可の日程で、準備を進め

ていくことを確認しました。

設立にむけた寄付金は、12月14日現在、87人の方から1,059,700円が寄せられ、会員は34人になりました。ご理解ご賛同いただき、心よりお礼申し上げます。

■会員募集中

会員には、利用会員・担い手会員・賛助会員の種類があります。入会費1,000円のみで会費はありません。会員募集中です。ぜひご加入ください。

寄付金へのご協力も引き続きよろしくお願いします。

■担い手募集

地域社会に役立つ活動に参加しませんか！

「福祉有償運送」「日常生活支援」は有償ボランティアです。活動手当が支給されます。どちらの活動も空いている時間を使って活動ができ喜ばれています。

まずは下記までお気軽にお電話ください。

ご利用・登録・寄付のお問い合わせは
☎ 080-3645-3268 (山口)
受付時間：平日9時～12時まで

ウォーキングの会

日 時 1月18日(月)
場 所 岐阜市にある百々ヶ峰(463m)
山麓南斜面の日向道を古津モニュメント広場駐車場より山頂の展望台を目指して歩きます。
集合場所 教育会館 8時20分
しずさと診療所 8時20分
大垣総合体育館 8時45分
※教育会館集合者は配車調整のため杉野または梅村まで連絡ください。
会 費 200円+交通費400円
持 物 弁当・水筒・雨具・防寒具・登山靴または運動靴
問合せ先
杉野茂樹 0584-34-1817 (朝のみ)
梅村民雄 090-4232-9057

グラウンドゴルフで楽しく健康づくり

実施日 1月14日(木) 19日(火) 27日(水)
2月2日(火) 10日(水) 18日(木)
2月26日(金)
時 間 12時半から
場 所 三城公園 ソフトボール場
問合せ・申込先 河村秀一 090-5450-3227

赤坂支部

健康サロン「笑って、動いて、認知症予防」

11月19日(木)支部恒例の健康サロン(26回目)を18人の参加者で行いました。



今回は認知症ケア指導管理士など多くの資格を持ち講師活動をされている田邊三千代さんをお招きしました。

認知症予防のお話では6つの日常生活での取り組み①バランスの良い食事②汗がにじむほどの運動③コミュニケーションをとる(話す、笑う)④質の良い睡眠⑤計算、音読をする⑥深呼吸(4つ吸って8つ吐く)など、具体的に毎日心がけるようにと話されました。その後、手足を使い身体をいろいろな動かす運動を繰り返して行いました。講師のさわやかな笑顔や声に励ま

されて楽しいひと時となりました。

参加された皆さんから良かった、楽しかった、との声が多く出され、また企画したいと思っています。

宇津時雄

1月の活動中止について

1月7日(木)のヨガ教室及び1月21日(木)の健康サロンは新型コロナウイルス感染拡大を考慮して中止することになりました。

なお、1月16日(土)ウォーキング班会は予定通り実施します。

2月以降は改めてお知らせします。

ピースフェスティバル実行委員会

「おやこで巡る大垣の戦跡」

「空襲・戦跡の歴史をたどる」

11月14日(土)、ピースフェスティバル実行委員会の主催で、市街地の戦跡巡りが行われました。「おやこで巡る大垣の戦跡」とする企画で、30人ほどが参加しました。

75年前、日本の各地は激しい空襲を受けました。大垣も例外ではなく、市街地は焼け野原になりました。その記憶を伝えるものを、今でも見つけることができます。

炎上し再建された大垣城、原爆投下訓練の大型爆弾パンプキン被爆地、今は保健センターにある空襲を見てきたトネリコの木、火の中で焼失を免れたお寺



の山門、焼かれながらも芽吹き今も葉をつける楠の木、金属供出のあとセメントでつくられた釣鐘等々…。2時間ほどかけてゆっくり巡りました。

空襲・戦争を体験された人たちにあって、それは消そうとしても消えない記憶です。その出来事は、体験していない世代にとっても確かな事実であり、それはつないでいってこそ新たな記憶になっていきます。

あわただしい毎日、空襲・戦争があったことも、ともすれば意識の片隅からも消えていきかねません。その事実と記憶を、折りに触れ確認し直すことは大事なことでしょう。

「おやこで巡る」企画としましたが、親子だけでなく、年配の方のグループ参加もありました。2020年は、コロナ禍の中、夏の空襲・戦争・平和の企画が中止や小規模での開催になり、残念な思いがありました。今回のこの企画で穏やかな秋の日差しの中、充実のひとつを味わうことができました。

支部、班会などで、街歩き、ウォーキングを兼ねてこのような平和企画を実施されてはいかがでしょうか。

高木正一

西濃医療生協は、地域に11の支部と26の班があり、さまざまな健康づくりに取り組んでいます。コロナ禍のもとで、昨年は例年に比べて半分の開催数・参加者数（月平均16回・128人）になりましたが、感染対策とフレイル予防を両立させて取り組みました。（写真はコロナ以前ののものもあります）。

皆さんも参加してみませんか。医療生協に未加入の方も歓迎です。

赤坂支部



健康サロン、高齢者に優しいヨガ班会、ハイキング班会など開催

大垣中央支部



健康体操班会、スクエアステップ班会。たまり場でのサロンを2カ所で開催

宇留生支部



健康を兼ねての文化と歴史散策班会、スクエアステップ班会を開催

大垣西支部



健康サロン「楽しく広場」やスクエアステップ班会、けんこう班会を開催

大垣東支部



スクエアステップ班会、グラウンドゴルフ班会を開催

大垣北支部



健康サロン「今日も元気だ」を開催

西濃南部支部



ポールウォーキング班会（養老と海津）、スクエアステップ班会。ミカン狩りやハイキングなど企画

不破支部



健康ヨガ・笑いヨガ班会。料理教室やウォーキングをかねて古戦場記念館見学なども企画

神戸支部



神戸町内3カ所と安八町でスクエアステップ班会。お花見会や紅葉狩りも企画

健康委員会



健康講座、こども料理教室、健康チャレンジなどを企画

ボランティア委員会



3カ所の事業所を定期的に草取り・清掃。※デイサービスでのボランティアは感染防止のため中止

診療所送迎委員会



しずさと診療所通院困難な組合員の送迎



2020年度岐阜県生協大会

澁澤寿一先生を招き記念講演
「里の暮らしを未来に活かす」

11月5日(木) 13時からホテル・グランヴェール岐山にて岐阜県生協大会がありました。県内7生協で構成する岐阜県生協連合会の集まりでした。

澁澤榮一の孫であり農学博士・澁澤寿一さんの講演「里の暮らしを未来に活かす」をお聞きしました。

最初に「聞き書き甲子園」の話から始まりました。福島の高校生がマガギの方に狩りの話を聞きに行き、カルチャーショックを受けるという話でした。私も少なからず驚きました。1960年頃までの里山の生活は理にかなった生活だったと教えて

下さいました。生きることが働くこと。自分が自分を養う時代だった。

それが、現代では生活をお金で買う時代になってしまった。人々は町で暮らすようになり、大切さの価値観が変わり日本は変わってしまった。そして今の生活を続けていると地球は3個分必要になり、このままでは地球はもたなくなる。先祖から受け継いできた命のバトン。次の世代に私たちは命のバトンは渡せるのか。

昔の里山は持続可能なエネルギーを得ていた。里山の皆さんが助け合って生活することでモラルが生まれ、自分の暮らしがどこにつながっているかを知っていた。今はシステムに依存して確認をしようとしめない。そして「人の欲望は自然環境の持続性の許容範囲の中ですべきだ」と言われたことが強く心に残りました。

幸福に生きることがどういうことか。今は便利になったが、幸せな時代が来るのかという問いに、生きがいのある社会を作ることが大切と言われました。私たちが行っている西濃医療生協「しずさとたすけあい」活動や、コープぎふの組合員活動「おたがいさま西濃」を後押ししてくださいと思っています。

そして、次の世代に渡すバトンの大切さを考えさせられました。SDGsについても再認識できました。私ができることを少しずつでもしていこうと思えました。

長屋由利子

後期高齢者医療制度窓口2割負担化 「全世代型社会保障」の名のもとに

高齢者の医療・福祉を大削減

政府与党は、75歳以上の医療費窓口負担を1割から2割へ引き上げる対象を「年収200万円以上」とし、約370万人を対象とすることに合意しました。次期国会に法案提出が予定される見込みです。

「現役世代と負担を公平化する」などと、現役世代と高齢者を分断・対立させ、社会保障費削減を押し進めようとしています。国庫負担の割合を45%から35%に引き下げてきたことが医療保険財政の根本問題です。

新型コロナウイルス感染が拡大し、受診控えによる健康への影響が懸念されるなか、負担増が実行されれば、病気やケガのリスクの高い75歳以上の高齢者が経済的理由で受診を我慢し、さらに病状を悪化させることになりかねません。医療福祉生協連は、高齢者のいのちと健康をおびやかす後期高齢者医療費の自己負担2割化に反対します。安心して医療機関を受診できるように自己負担を軽減することが、重度化を防ぐとともに結果的には医療費を減らすことにつながると考え、撤回・中止を求める運動を強めていきます。

西濃社会保険推進協議会

秋の西濃地域2市9町懇談会

10月から11月にかけて、国保、介護保険、福祉をテーマに、1市8町と懇談をしてきました(大垣市と養老町は未実施)。高校生までの子ども医療費助成では、今年度より大野町、来年度より予定の安八町を含め、西濃圏域では海津市と養老町を除く1市8町が実施となりました。

国保料(税)では、全国の社保協が均等割にかかる保険料の高校生までの減免要求が続けてきたことに対し、国の社会保障審議会は、全世帯の未就学児を対象に均等割保険料を5割に軽減する措置を講じることを決定しました。

無料 くらし何でも相談会

多重債務(破産・再生・任意整理)、離婚・親権、遺産相続、交通事故、労働災害、医療事故、消費者被害、損害賠償など。提携弁護士がご相談をお聞きます。

日時: 2月12日(金)
3月11日(木)
各午後1~3時

場所: しずさと診療所内

○相談時間: 30分

○事前申込みが必要です。

本部電話 0584-92-3268

健康委員会

第6回 こんな時だからこそ一緒に 健康チャレンジ

今年で6回目を迎える健康チャレンジ2月スタート

皆さんに健康習慣づくりを呼びかけています。ご自宅でも一人でもチャレンジできます。お友だち同士、家族みんなで参加することもできます。参加は無料です。

本紙折り込みの健康チャレンジカードに記録して、「結果報告書」を提出した方には記念品プレゼントします。

まずは「参加申込書」を切り取って郵送ください。また、医療生協役員・診療所・介護センターにご提出ください。



西濃南部支部

広幡スクエアステップ班へのお誘い ～認知症予防とおしゃべりの場～

日 時 1月17日(日) 午前10時より
2月21日(日) 午前10時より
どちらも1時間位行います。
場 所 養老町広幡公民館 和室(養老町口ケ島19-1)
持 物 タオル・飲み物
参 加 費 無料
問合せ先 長屋由利子 080-1612-4387

※どなたでもお気軽にお越しください。
※朝の検温とマスクの着用をお願いします。
※コロナウィルス感染症の影響で変更する場合があります。

不破支部

心と体の健康づくり

日 時 1月30日(土) 10時～11時 定員 30人
場 所 垂井町中央公民館 2階会議室
講 師 西田あい子さん
内 容 頭の体操、タオル体操など
持 物 飲み物、タオル

健康ヨガ教室

日 時 2月27日(土) 午後1時30分～3時
場 所 垂井町中央公民館3階
講 師 野村美智留さん
会 費 300円 定員 20人
持 物 ヨガマット、飲み物、バスタオル

問合せ先 伊藤 0584-22-5719 山河 0584-22-4316
※朝の検温とマスクの着用をお願いします。

しずさと診療所 診療案内 内科・外科・整形外科・リハビリテーション

		月	火	水	木	金	土
8～9時	検査	柄澤	柄澤		柄澤	柄澤	
9～12時	第一診察室	柄澤	柄澤	柄澤	柄澤	阿川	※2
	第二診察室	岡野	岡野	岡野	岡野	岡野	
	第三診察室	粕谷	鷲見	粕谷		※1	
14～17時	訪問診療	柄澤 岡野	柄澤 岡野	柄澤 岡野	柄澤 岡野	柄澤 阿川 岡野	
17～19時	第一診察室	柄澤		泉		岡野	

岡野医師が常勤医師として加わる1月より診療体制が変わります。午前診療では、岡野医師が月～金を担当、夜診療では金曜日が阿川医師から岡野医師に代わります。土曜日は現行どおりです。

※1 金曜日の第2診察室

柄澤医師が検査(胃カメラ・エコー)を行います。

※2 土曜日の診療

第1・3は岡野医師が担当します。

第2・5は柄澤医師が担当します。

第4は松井医師が担当します。

<医療・介護のお問い合わせは>

▼しずさと診療所

電話 0584-93-1170 FAX 0584-93-1169
〒503-0982 大垣市久徳町153-1

▼デイサービスひのき

電話 0584-93-0310 FAX 0584-93-0311
〒503-0981 大垣市松町706

▼介護センターしずさと

電話 0584-91-3912 FAX 0584-93-1151
〒503-0981 大垣市松町1452

・介護支援センター 0584-93-1171
・デイサービスセンター 0584-93-1172
・訪問看護ステーション 0584-93-1173
・ショートステイ 0584-93-1175